

えーっ！また移転？清水から宮崎へ

日立AP清水事業所
と関連会社で働く
人のネットワーク



2009年2月

No.16

発行：オアシス
編集委員会
連絡先：多田義幸

TEL

090-9121-0602

日立アプライアンス清水事業所では去年の11月に清水住機本部の宮崎移転が発表されました。今年10月には移転を完了させるといふ話で突然の提案に不安や戸惑いの声が上がっています。

清水で無理して働いてきたのに

清水住機本部は、以前茨木工場より異動して以降、多くの退職者を出した影響で、極端な人員不足の状況が続いています。そして、設計部門等では、長時間労働を労働者に強いてきました。これ以上労働者に無理を押し付けるのは許されません。

派遣社員の雇用は？

住機本部関係で働く派遣労働者が多数います。今は不況の状況なので、派遣社員は雇い止めになれば、次の就職先が困難になります。派遣社員の雇用を確保させる施策が必要です。

労働組合の交渉は？

労働組合の交渉内容は、一般組合員に一切知らされていません。宮崎への移転という既成事実だけが先行しています。派遣社員の雇用も含め、全組合員と該当する派遣社員に、情報を提供すべきではないでしょうか。

経営状況は？

最近、会社内の経営状況は、前年同期と比較して約10%の売り上げ減となつているとのこと。余計な投資は控えるのが健全な経営ではないでしょうか。

宮崎では

宮崎の日立プラズマディスプレイは、パネルの生産中止で400人の派遣労働者の雇い止め、ならびに400人の正社員の広域配転をして、人員を削減しています。そして、残りの600人を継続雇用として日立グルー

プ会社より業務を移転させて、雇用を継続するとしています。今回の問題は宮崎工場の雇用対策が目的のようですが、経営者の判断ミスによりおきたことです。日立の経営責任を明確にし、宮崎の雇用を確保させると同時に、他事業所に犠牲を押し付けることはやめさせましょう。

今回の宮崎移転は会社の一方的な都合により行われます
移動を拒否し、清水で働く権利を保障させましょう